

事業

旧戸田小学校の有効活用による地域活性化の取組について

■概要

平成26年3月31日に閉校した旧戸田小学校を社会福祉法人太陽の里福祉会に貸し付けし、民間事業者の活力導入による地域活性化を推進するものです。

貸付け後は、社会福祉法人太陽の里福祉会が校舎の一部を改修し、障害者総合支援法第5条第1項に規定する就労継続支援として障害者が就労するカフェを運営します。

■ 使用貸借契約の概要

- 貸付物件 那須塩原市戸田708番地1 旧戸田小学校（木造校舎）
 - 土地・・・20,494 m²
 - 建物（床面積）・・・1,304 m²
 - 校舎・・・888 m²
 - プール・・・337 m²
 - その他施設（便所、物置）・・・79 m²
- 借受人 那須塩原市上中野53番地
社会福祉法人太陽の里福祉会 理事長 松本 かずのぶ 一伸
- 貸付料 無償
- 貸付期間 平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5カ年）

■ 社会福祉法人太陽の里福祉会が行う事業の概要

「旧戸田小学校のABCプロジェクト（別紙参照）」として、障害者が就労（就労訓練を含む）するカフェ経営を核に、自転車の休憩所、キッズスペース、アート作品の展示所及び地域の集会所等の機能を持たせ、老若男女が気軽に立ち寄ることのできる地域福祉の拠点づくりを目指します。

※「旧戸田小学校のABCプロジェクト」とは、各取組の英語の頭文字を取ったものです。

事業の詳細については、次にお問合せください。

【社会福祉法人太陽の里福祉会の連絡先】

事業責任者：松本 かずしげ 和重

電話：0287-65-2288

■ 事業者の選考及び地域住民の合意形成

- 平成29年2月13日から3月31日まで民間企業等から事業提案を募集し、2社から応募あり
- 教育総務課による一次審査（資格審査）及び小中学校跡地活用庁内検討委員会による二次審査（事業内容審査）を実施し、「旧戸田小学校のABCプロジェクト」を提案した社会福祉法人太陽の里福祉会を利活用事業者（候補者）に選考
- 平成29年10月5日に戸田地区運営委員会委員を対象に説明会を実施
- 平成29年10月17日、11月16日に戸田地区住民を対象に説明会を実施
- 平成30年2月1日に戸田地区住民を対象に事業者説明会を開催

■ 貸付け後のスケジュール（予定）

- 平成30年4月 設計（増改築計画の作成）
- 平成30年7～8月 着工
- 平成31年1月 完成・引渡し
- 平成31年4月 オープン予定

「旧戸田小学校のABCプロジェクト」の概要について

1 事業者名

- 社会福祉法人太陽の里福社会 理事長 松本 一伸
法人住所：那須塩原市上中野53番地

2 事業名

- 旧戸田小学校のABCプロジェクト

3 事業概要

- ABCプロジェクトとして、障害者が就労（就労訓練を含む）するカフェ経営を核に、自転車の休憩所、キッズスペース、アート作品の展示所及び地域の集会所等の機能を持たせ、老若男女が気軽に立ち寄ることのできる地域福祉の拠点づくりを目指す。

4 事業計画

(1) 事業内容

A・・・art（アート）、agriculture（農業）

○ art（アート）

芸術作品の展示（有名・無名問わず）の場とする。また、那須塩原市と縁のあるアーティストの作品を披露する場や未来の芸術家のタマゴと協力し町おこしができればと考えている。

○ agriculture（農業）

法人で自家栽培した農産物をカフェで提供する。

B・・・bicycle（自転車）、bread（パン）

○ bicycle（自転車）

広いグラウンドを利用し、自転車の発着所・休憩所として活用する。

○ bread（パン）

法人として長年生産販売を行っているパンをカフェで提供する。また、パン以外にも、市の福祉事業所の製品（雑貨など）の販売所を設けたいと考えている。

C・・・cafe（カフェ）、community（地域）、childrearing（子育て）、consultation（相談）

○ cafe（カフェ）

旧戸田小学校の利活用の要として、障害者が就労（就労訓練を含む）するカフェを運営する。

○ community (地域)

空き教室を活用し、地域住民及び団体の集会などで利用してもらうとともに、グラウンドも可能な範囲で地域に開放する。また、イベント等を企画し、一緒に地域を盛り上げていく。

○ childrearing (子育て)

キッズスペースを設置し、ママさんたちの憩いの場として利用してもらう。

○ consultation (相談)

カフェを通して、高齢・障害・児童等の各種相談を「お茶を飲みながら、ついでに聞いてみよう」と思ってもらえるような場を作っていく。必要があれば、専門の相談機関を紹介する。

D・・・disability (障害)

○ disability (障害)

障害者総合支援法に基づく就労継続支援A or B型事業所として、障害者が就労（就労訓練を含む）するカフェを運営する。接客など表舞台での経験を通して障害者の就労への意欲を育み、就労に繋げていく。また、カフェ利用者にとっては、障害者に対する理解を深めてもらう機会の一つになると考えている。

E・・・education (教育)、employment (就労)

○ education (教育)

地元の学生に就労体験の場（福祉教育の場）を提供し、障害者に対する理解を深めてもらう。

○ employment (就労)

障害者の就労はもとより、就労体験を通して将来の福祉の担い手を育成する。

(2) 事業実施スケジュール (予定)

○ 平成30年4月 設計 (増改築計画)

○ 平成30年7～8月 着工

○ 平成31年1月 完成・引渡し

○ 平成31年4月 オープン予定

5 これまでの実績

○ 昭和59年 知的障害者更正施設太陽の里開所

○ 平成 元年 ショートステイ事業開始

○ 平成 9年 デイサービスセンターさわらび開所

○ 平成11年 グループホームサンライズ開所

- 平成12年 障害者の社会就労センターセルフくろいそ開所
- 平成15年 障害者相談支援事業開始
- 平成15年 障害児デイサービス事業開始
- 平成19年 重症心身障害児（者）通園事業B型開始
- 平成22年 コメット保育園開所
- 平成23年 「知的障害者更正施設 太陽の里」を「障害者支援施設 太陽」に名称変更
- 平成24年 さわらびとセルフくろいそを統合し、多機能型事業所生活支援センタープラネット開所
- 平成27年 学童保育ゆめみらい開所

6 法人の思い

- 当法人がカフェとして旧戸田小学校を活用するのは、より身近な福祉を目指しているからです。カフェであれば、皆さん、お茶を飲みに来ます。そのカフェが社会福祉法人なら、ついでに何か相談ができるかもしれない。そこから福祉へ繋がられるきっかけになればと思っています。
- 現在考えている「ABC」は記載のとおりですが、当法人だけでなく、地域住民、各種企業、団体、行政など様々な力を借りて、色々な「ABC」を増やし、旧戸田小学校区だけでなく、市全体が活性化していく一つの拠点として、その始まるの場所として旧戸田小学校を活用していきたい。
- 今後も、市の地域福祉の向上を担えるよう努力して参ります。